



憲法壊すな！コロナ禍で人権守れ！

憲法74歳の記念日、平和と暮らしの政治を



3日、1市4町の会

改憲よりも コロナ対策が急務 オリンピックは中止すべき！

クキヤラバンでは、軽トラ3台を連ね、ノボリ旗22本が立ち並び、様々なプラスタと横断幕を持つてのアピールが行われました。現憲法が施行されて74年目となるこの日、コロナ感染拡大が続く中、憲法を変えようという国会の動きがあり、「憲法をかえるより、コロナ対策に全力を」と訴えました。

コロナ対策後手 後手の首政権

夕張は朝からみぞれが降る悪天候。スタートした南幌町でも冷たく強い風が吹きつける中、立憲民主党からは千葉清美、栗山町議が、社会民主党からは浅野道連、幹事長が、日本共産党からは地元の議員が、それぞれ「コ

ナ感染拡大が続く中、オリンピックを開催する必要があるのでしようか。連休明けには、国会で憲法改憲の手続きを進める動きがあります。菅政権はコロナ対策も後手後手になり、収束の目途も立っていません。今年はずっと総選挙があります。菅政権に期待はできません。市民と野党の共闘で、新しい政治をめざし、現憲法を生かした新しい政治を実現させましょう」と呼びかけました。



母の日が近いことから、聴衆の方から、女性の参加者へ一人一人に花束のプレゼントもありました。地元の平和団体・個人から「74歳となる現憲法、今の平和



があるのは、憲法9条があるからです。平和の証の9条を変えることは絶対に許しません」とそれぞれ訴えていました。最後の夕張、コープサツポロ店前で、地元から千葉勝夕張市議が、市民フォーラムの立場から、「北海道に核のゴミを持ち込ませてはいけません。原発の廃炉も含め、私たちが、9条改憲も含め、反対していきましよう」とあいさつしました。このトラックキヤラバンには、総勢百名を超えるメンバーが参加しました。

今の平和は憲法9条があるから！

第92回メーデー 夕張集会開催 一軍事費削ってコロナにまわせ



を代表して夕張労働者連議長の筒井勇治さんが「実行委員会ではコロナ感染が第4波となる緊迫した状況の中で、小規模でも感染防止対策をしつかりしながら、働く仲間の団結と菅自公政権を終わらせるために開催しました」と集会開催を決めた

5月1日、第92回メーデー夕張集会が「複合施設りすた」で開催されました。集会では実行委員会

転職・解雇問題 取り組みに連帯
なか、労働組合が働く者の権利・要求を掲げて取り組んでいることに敬意を表し、昨年末からレイスイ

たつた日本共産党夕張市議くまがい桂子さんは、「菅自公政権によるコロナ対策が無為無策なため、感染が拡大して第4波になつていますが、これは人災と言われ、これは仕方のない状態です」とし、命と暮らしを守る取組みを一層強めて行きたいと話しました。また、コロナ禍の

新型コロナ感染 急拡大は人災

経緯を報告しました。会場の外には夕張労働や建交労などの組合旗、「憲法改悪反対」「コロナ対策は自粛と補償をセットで」など、要求と政策を染め抜いた桃太郎旗を一行に立て、メーデー集会の取組みをアピールしました。来賓として挨拶に



熊谷泰昌実行委員
会事務局長から集
の基調報告が行わ
「菅政権のコロナ対
策がPCR検査もワ
クチン接種も世界的
にみて大きく遅れて
いることは重大な問
題として声を上げる
必要があります。
メンバーは労働者
が勝ち取ってきた基
本的な権利や団結の
力を再確認する機会
です。

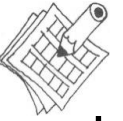
リゾートの破綻やマ
ルハニチコの工場閉
鎖、さらにシチズン
の事業縮小で転職・
解雇など起きている
ことに触れ、問題解
決の為の団体交渉に
取り組んでいること
など、組合運動の更
なる前進に連帯を表
明しました。

医療・公衆衛生の拡充 病院への赤字補填を

今起きているコ

ナ危機は、国民の生
活を支える医療・介
護・保育・教育など
の「ケア労働」が人
手不足や低賃金など
粗末に扱われてきた
ことを明るみにしま
した。労働条件・賃
金など待遇の抜本的
改善を求め早急に取
り組まなければなら
ません」と差し迫つ
た課題をとりあげて
集会の意義を強調し
ました。

集会スローガンで
は、「軍事費を削って
コロナ対策にまわせ」
「医療提供体制・公
衆衛生体制の拡充」
「病院への赤字補填
で経営と雇用を守れ」
など、コロナ禍で浮
き彫りにされた国民
的課題が示されてい
ました。
集会開催に対し、
厚谷夕張市長、大山
市議会議長、空知労
働金庫夕張所長など
から祝辞が寄せられ
ました。



くずさんの 夕張歴史散歩 (156)

明治維新 70 朝鮮植民地支配 52

幕末の外交

幕末に、アメリカをはじめイギリス・フランス・オランダ・ロシアなど東欧諸国がアジアの開国を求めぞくぞくと来航します。
この時に、長州藩や薩摩藩の尊王攘夷派がフランス軍艦に砲撃を加え逆の賠償を取られます。(薩英戦争)

一方アメリカをはじめとして外交交渉を始めた幕府は、修好条約(不平等条約だった)の締結を強いられま
す。鎖国政策の転換を迫られた幕府は、積極的に外国の
すすんだ点を学びとろうとします。中でも幕末三俊と称
された「岩瀬忠震(タダナリ)・水野忠徳・小栗忠須」ら
の活躍は注目に値します。

尊王攘夷では列強諸国に太刀打ちできぬと知った長
州・薩摩藩らは、内乱を起こし幕府を倒し、ここに明治
政府を樹立します。(明治維新)

しかし、新政府はこれら「幕末の三俊」の逸材を重用
せず、旧幕府の外交をしりぞけ、自国より遅れた国を劣
位におき、貶めることで優越感を持ち、列強に負けじと
朝鮮・明国に侵略の手を伸ばすのです。こうして征韓論
が明治政府の主要な外交政策となっていくのです。

征韓論に反対はなかったのか

当時の日本は征韓論一色だったのでしょうか。そうで
はありません。

「勝海舟」は、日本と朝鮮・中国の三国で列強と対抗
しようとして説いています。なかでも「田山正平」の反征韓
説は、現在でも当てはまるでしょう。

また、朝鮮で開国交渉にあたった「吉岡弘毅」は、27歳
で長文の建白書を書き、征韓を諫めています。

「横山正太郎」は「非征韓論建白書」を建議し、割腹
自決しています。



岩淵 友「国会かけある記」
参議院議員

「こんな政治を今すぐ変えたい」

「こんな政治を今すぐ変えたい」という思いでい
っぱいです。政府は緊急事態宣言とまん延防止等
重点措置の延長・拡大を決定しました。事業者が
休業や時短など努力している一方で、宣言の効果
などについて十分な説明をせずに期間延長しま
した。深刻な医療のひっ迫に対する対策も自治体
の要請待ちの状況です。

さらに「対策を徹底すれば、国民の命や健康を
守り、安全、安心の大会を実現することは可能」
とオリンピックに固執。オリンピック組織委員会
が看護師500人、スポーツドクター200人の
派遣を要請し、テストマラソンも強行されまし
た。これに対し、「#看護師の五輪派遣は困りま
す」というツイートが一気に広がり、弁護士の中
都宮健児さんが呼びかけたオリ・パラの中止を求
めるオンライン署名は、30万人を超え増え続けて
います。オリンピックがコロナ対策と両立しない
ことは明らかであり、すぐにでも中止を決断する
べきです。

議員会館前では抗議の声が上がり続けるなか、
衆院憲法審査会で国民投票法改定案が強行され
ました。コロナで高齢者が受診控えをするなか、
75歳以上の医療費を2倍化する法案も衆院厚生
労働委員会で強行され、入管法改定案、デジタル
法案など、いのちやくらし、人権に関わる重要法
案も強行されようとしています。廃案の声を大き
く、今こそ市民と野党が本気で力を合わせて政治
を変えるときです。

※4月中は市内での新型コロナウイルス感染拡大に伴い、「民報ゆうば
り」は休刊させていただきました。謹んでお詫びいたします。